

南のひと 41

写真・文=水野暁子

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。
暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を
込めて撮影している。



石垣島出身の高校3年生、久手堅美海^{くでけんよしみ}さんとお会ったのは、去年の10月末に衆議院議員選挙が行われた時期だった。選挙に行った若い人に何かプレゼントをするというムーブメントに乗って、「選挙へ行き投票した18歳、19歳の人へ撮影のプレゼントをします」とSNSで呼びかけてみた。

美海さんが、SNSのストーリーに「選挙へ行こう！」という言葉と共にオヤケアカハチ像の勇ましい姿の写真をあげていたのが印象的で、彼女へ撮影をプレゼントすることにした。(オヤケアカハチは、かつて年貢の取り立てに苦しむ島民の先頭に立って、琉球王府へと立ち向かった人物だ)

美海さんに、初めての選挙はどうだったかと聞いてみた。

「当日選挙へ行けない子は期日前投票をしたり、選挙当日は終わった後にお互い気さくに選挙について話したりしました。前日はドキドキして緊張しながら政党名や出馬者の名前を覚え、今回は裁判官のことも調べました。調べても分からないことは、お父さんに聞きました。実際に選挙会場に行ってみると淡々とした流れ作業だったので、こんなもんなんだと思いました。以前は、政治に興味がなかったけれど、今回自分で色々調べたことがきっかけで見方が変わりました」

美海さんや彼女の周りは、選挙に行くことが当たり前で、「ご飯何食べた？」と同じ感覚で政治について話し合っていた。そのオープンでまっすぐな眼差しは今、社会へと向けられている。

水野暁子 みずのあきこ
1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

●島人へのインタビューをまとめて紹介しているYouTubeチャンネル「八重山ライブラリー」も。



Akiko Mizuno Photography



八重山ライブラリー